

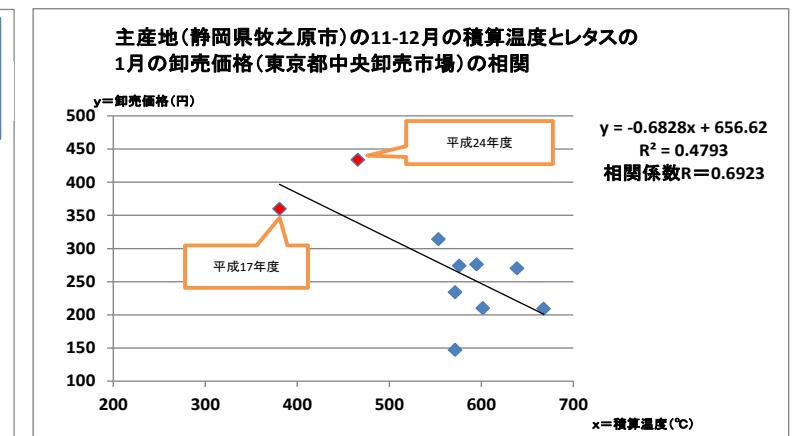
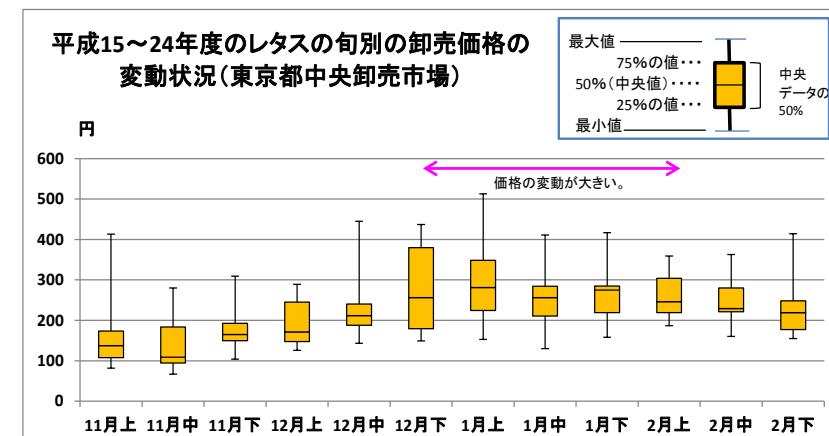
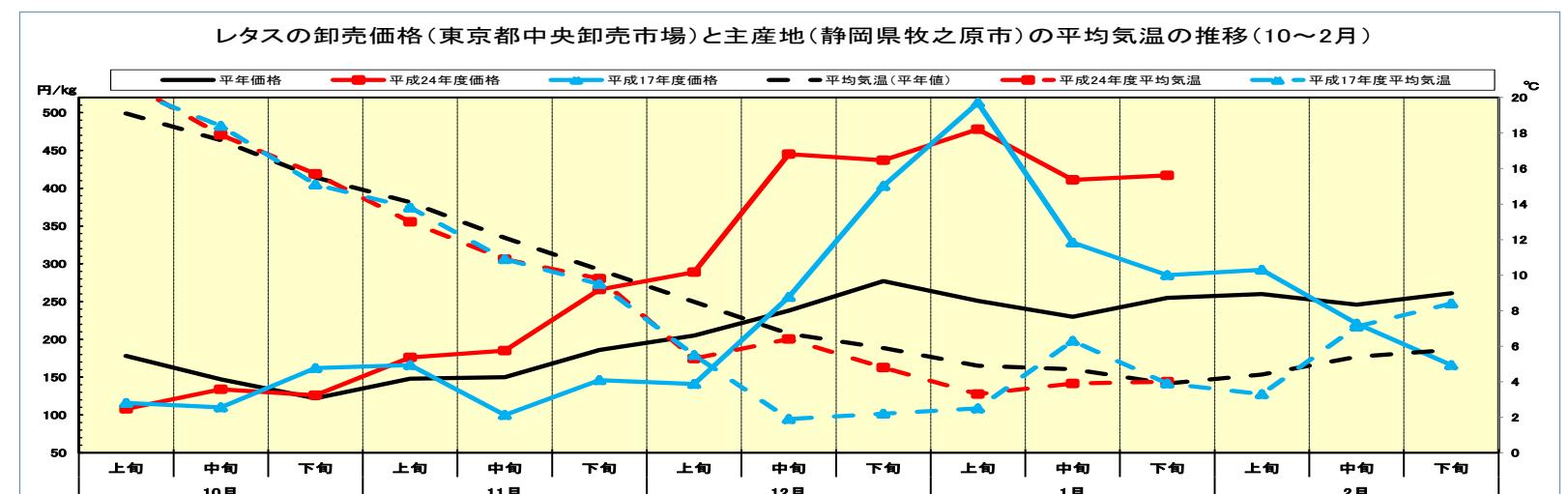
トピック — 気温とレタスの価格の関係 —

この冬のレタスの価格は、平年を大幅に上回って推移している。1月のレタスの価格は、波乱含みの年が多いと指摘する実需者も多い。実際、過去10年間のレタスの旬別の卸売価格の状況を見ると、12月下旬から2月上旬にかけて、その前後の旬に比べて価格の変動が大きくなっている。

1月に出荷されるレタスは、10月頃に播種・定植され、11月から12月かけてが重要な生育期間となる。冬場のレタスの生育には、特に気温の影響が大きいといわれているが、今年と似た価格変動を示した平成17年度の主産地の気温の変化を見ると、今年と同様に、11月から12月にかけて、平年をかなり下回っている。

そこで、11月から12月までの積算温度と1月の卸売価格について相関をとったところ、高い相関が見られ、この期間の積算温度が低いほど、1月の価格が高くなる傾向がある。

なお、平成17年度は、1月中旬以降、気温が平年並みとなつたことから、価格は1月上旬をピークに落ち着きを取り戻した。気象庁の3か月予報によると、今年の2月の気温は、平年並みと見込まれていることから、価格は、引き続き平年を上回って推移するものの徐々に落ち着いてくる見込み。



●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。